

Funehiki High School News vol.66

デュアル実習Ⅱ終わる

3年生のデュアル実習が1月で終了しました。市内の企業・施設の皆様には、2年間大変お世話になりました。今回は、実習で学んだことを生かし、新たな進路に向けて決意を固めている実習生の声を紹介します。

3年ビジネスクラス

荻島幸恵さん
(葛尾中出身)



私はこの1月に、2年間のデュアル実習を終えました。

2年生の時は、前期と後期で2つの企業にお世話になりました。2つの企業とも食品を扱う会社でしたが、一つ一つの細かい作業を手早くきれいに仕上げなければならず、とても大変だなと感じました。しかし、自分で手を加えたものをお客様が手に取って買ってくださいたり、食べてくださったりした時、今までにない喜びや達成感を感じることができました。

3年生の時は、幼稚園でお世話になりました。私はこれまで、小さい子どもと遊んだことがあまりなかったため、初めて幼稚園に伺った際は不安でした。しかし、子どもたちの方からあいさつや話をしてくれたので、とてもうれしく、不安な気持ちがなくなりました。子どもたちに教える立場であるはずの私が、逆に子どもたちから教わったり、子どもたちの笑顔に元気をもらったりなど、とても貴重な体験をさせていただきました。

2年間の実習を通して、改めて仕事の大変さや人との関わりについて学ぶことができました。高校生である自分に大切な仕事を任せてくださったり、たくさんのお話を教えてくださった実習先の方々には心より感謝します。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

今年の春、私は仙台大学で新たな生活を始めます。不安な気持ちはありますが、大学への進学を認めてくれた両親や家族、試験の前日までお世話いただいた担任の先生をはじめとする諸先生方、どんなときでも応援し、支えてくれた友人や部活動の仲間に対する感謝の気持ちを忘れず、しっかり学んでいきたいと思っています。そして、いつか必ず恩返しができるように、一歩一歩前進していきます。

3年生に向けて

3学期は、2年生にとっても卒業後の進路を本格的に考え始める重要な時期となります。既に多くの2年生が、将来の夢や仕事を思い描き、それぞれの進路実現に向けて真剣に取り組んでいます。今回はその中の1人に意気込みを聞きました。

2年特別進学クラス

鎌田 愛さん
(船引中出身)



私は特別進学クラスで、毎日7校時の授業を受けています。特に月曜日と金曜日の7校時目には、上級学校の入試対策として数学と英語の授業を受けています。今では、クラスの大半の生徒が進学や就職に関する意識を高めてきており、積極的に授業に参加したり、各種検定試験に臨んだりしています。

私たちのクラスでは、多くの生徒が進学を希望しています。私もその中の1人で、将来は司書になるという目標の下、大学入試に向けた学習を始めています。また、部活動では日本文化部の華道部に所属しており、「本科」という資格取得を目指しています。6校時で授業が終わるビジネスクラスの部員よりも、どうしても稽古の時間は短くなってしまっていますが、その分、集中して取り組むようにしています。

入学した頃は、東日本大震災があった直後で、きちんと学校に通えるのか、新しい環境にうまくなじめるのか、不安ばかりでした。しかし、2年が経とうとしている今は、勉強と部活を両立させ、充実した毎日を送ることができています。3年生となる今年は、司書になるために、希望する大学に合格できるように、もっと頑張りたいと思っています。

「デュアル実習成果発表会」せまる

2/19
(火)

とき：14:00～16:00(13:30受付開始)
ところ：市文化センター
※詳しくは、下記へお問い合わせいただくか、本校ホームページをご覧ください。

当日は、1年間にわたりお世話になった実習の様子や、実習を通して考えたり学んだりしたことを発表します。地域の皆さんにもぜひご覧いただきたいと思っておりますので、どうぞご来場ください。

気合を入れ一年の練習を開始



松濤館空手道スポーツ少年団(船引町船引)の新春鏡開きが1月12日、船引小体育館で開かれました。団員30人が寒さに負けず、気合の入った突きや蹴りの基本練習を繰り返し、今年の稽古をスタートさせました。

初稽古は恒例行事で、一年間の無病息災と技の向上に加え、精神の成長を願って行われています。

稽古後は、東部台第1集会所で保護者が準備した雑煮などを頬張り、笑顔で練習を終えました。

1年の健康を祈って

大越町白山地区で1月12日、小正月行事の「どんと祭」が行われました。同地区の白鳥神社には、正月飾りや御札などが持ち寄せられ、神事後、たき上げて今年1年の無病息災を祈念しました。たき上げの火でいぶされた笹の葉は、無病息災のお守りとしての効果があるといわれており、来場者は分けて持ち帰りました。



また、同地区で活動する白山青年会により豚汁や焼きそばが、振舞われました。

福を求め、船引だるま市



爆弾低気圧の影響で大雪に見舞われた1月14日、JR船引駅前森公園で船引だるま市が行われました。

三春だるまや白河だるま、今年の干支「へび」の張子、まさる・熊手などの縁起物を販売する店が軒を並べ、あいにくの天気にもかかわらず福を買い求める家族連れなどでにぎわいました。

オープニングセレモニーや抽選会、福まき餅なども行われ、会場を盛り上げました。

田村

ゆきひとめと

1

たむらほつとニュース

No. 3